

# Part2 実践編

## Whole Adventure Sports

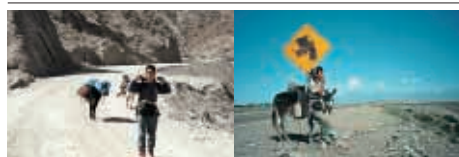
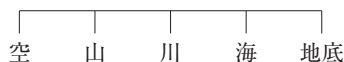
アドベンチャースポーツの世界

旅や冒険、探検といったいわゆるアウトドアの世界がある。広義では、人類が歩んできたプロセスそのものでもあろう。アドベンチャースポーツとは、そんなアウトドアの世界に内在する要素が随所にちりばめられた世界でもある。

監修☆田中正人 Guidance by Tanaka Masato 文☆編集部 Text by ASM  
 写真☆中山茂大、金子雄爾、笠原修一、編集部 Photo by Nakayama Shigeo, Kaneko Yuji, Kasahara Shuichi, ASM

### trip, adventure, exploration

旅・冒険・探検の世界

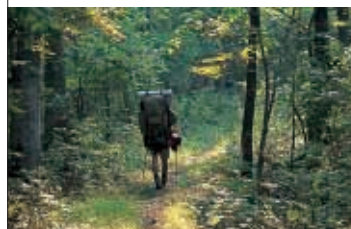


左＝ロバとともに思うがまま歩くままに……。そこに束縛は何もない。旅人の意志がすべて。右＝荒野から街中まで、旅するフィールドに際限はない。その土地その土地に溶け込んでいく

### activity

アクティビティ

- バックパッキング
- マウンテンアリング  
(クライミング、トレッキング、シャワークライミング、etc.)
- オリエンテーリング
- トレイルランニング
- ホースライディング
- マウンテンバイク
- カヌーイング
- カヤッキング
- ラフティング
- シーカヤッキング
- セーリング
- シュノーケリング
- ラフウォータースイミング
- ケイビング
- スキーイング
- スノーシューイング
- etc.



生手道具をサックに積み、人力で移動するバックパッキング。最もシンプルな移動手段だ

### コンペティションの世界

### trail running etc.

単独種目競技

※チームカテゴリーのあるレースも多数

#### ▶▶ 個人

- 日本山岳耐久レース(長谷川恒男CUP)
- 日本ロゲインチャレンジ
- セルフディスカバリー・クロスマウンテンバイク
- とれとればいく(ナビゲーション要素あり)
- 奄美シーカヤックマラソン
- ラフウォータースイム・イン・座間味
- 全日本エンデュランス馬術大会 etc.

#### 【海外レース】

- ウルトラカップ
- キナバル国際クライマソン
- カリマインターナショナルマウンテンマラソン
- スバルタスロン
- サハラマラソン
- レイドタイ etc.

#### ▶▶ チーム

- セルフディスカバリーアドベンチャー・マウンテンランペアマッチチャレンジ・イン・白馬
- セルフディスカバリー・ペアマッチチャレンジ屋久島
- 日本リバーベンチャー選手権大会 etc.



国内最高峰の山岳耐久レース「長谷川恒男CUP」。奥多摩の主要峰を巡る71.5kmの長丁場

ナアクティビティの複合

### multi-sport

マルチスポーツ(複合競技)

※夜間ノンストップレースは、国内に該当レースなし

#### ▶▶▶ 個人

- XTERRA ジャパン
- ADVENTURE in Fuji
- アウトドアジャパングランプリ・イン・王滝  
(2日間・ステージ制) etc.

#### ▶▶▶ チーム(男女別・男女混合)

- 1日完結型
- セルフディスカバリーアドベンチャーレースin王滝
- 仁科三湖アドベンチャースイム&ラン etc.

#### 2日間以上(ステージ制)

- 南信州カントリーロードあそべんちゃ〜れーす

#### 【海外レース】

- コースト・トゥ・コースト
- マイルドセブン アウトドアクエスト



トライアスロンのアウトドア版の大会の「セルフディスカバリーアドベンチャーレース」

遊びの要素をふんだんに盛り込み、初心者でも楽しめる「南信州あそべんちゃ〜れーす」

### adventure race

アドベンチャーレース

#### ▶▶▶ 男女混合(チーム制)・複合競技 ナビゲーション・ノンストップ

#### 1日完結型

- エクストリームシリーズ
- UEDA Adventure Games
- 石垣山古戦場アドベンチャーゲームズ
- NACアドベンチャーレースinニセコ
- 白馬インターナショナルアドベンチャークエスト
- 九州ADVENTURE in人吉・球磨
- おてがるアドベンチャー

#### 2日間以上(ステージ制)

- アドベンチャー・ワイルドチャレンジレースMt.森吉
- 北アルプス山麓Adventure Games
- あしがらアドベンチャーレース
- 里山アドベンチャー

#### 【海外レース】

- レユニオン・アドベンチャー

#### 2日間以上(ノンストップ)

- 伊豆アドベンチャーレース
- ADVENTURE TRAIL AZUMINO 2DAYS

#### 【海外レース】

- ザ・レイド
- サザン・トラヴァース
- スバル・プライマル・クエスト
- グアム・エクストリーム・アドベンチャーレース
- EMA etc.



世界レベルの大会をめざす「伊豆アドベンチャーレース」。今年で7回目を迎える

ナナビゲーション

山、川、海、空……、地球というフィールドを移動する手段として、さまざまなアウトドア・アクティビティが発達してきた。そもそもこれらのアクティビティは、人類がフィールドをいかに効率よく安全に、そしていかに速く速くに、あるいは高く深く、移動するかを追求するなかで、それぞれが生まれてきたものだ。こうしたアクティビティにレギュレーションを加えることで、アドベンチャー

スポーツの世界が広がっていく。アウトドア・アクティビティ競技(フィールド競技)は、一般的に速さを競うものだ。そもそも移動手段であったアクティビティゆえ、いかに速く移動できるかが最大の焦点となるのは当然のことだろう。だが、ここで重要なのは、陸上トラック競技などとは異なり、「自然が競技ステージであるゆえ、常に不確定要素とリスクを伴う」

ということだ。言い換えれば、体力・技術はもちろん、知識・経験・判断力などをはじめ、人間が本来持つ本能的要素をも含めた、さまざまな能力を要求される、ということになる。山を走るにせよ、川を下るにせよ、地形を読み、人間力をフルに引き出し、いかに安全にかつ速く移動するかということが、フィールド競技、アドベンチャースポーツの最大の特徴なのである。

この特徴は、フィールド競技、アドベンチャースポーツすべての競技種目に当てはまる。それゆえ、選手には当然一定の自己管理能力が要求される。一方、フィールド競技に冒険や探検の要素はあるものの、あくまでも競技ゆえ、大会主催者側にも、レギュレーションの設定や運営面に必要最低限の要素や能力が要求される。たとえば、適切な参加基準や安全管理体制、コース設定能力などである。

これらを踏まえたうえで競われるのが、フィールド競技であるべきだし、それで初めて大会が成立することになるはずだ。こうしたことは、単独種目競技に限らず、フィールド競技すべてに該当する。本特集ではフィールド競技、アドベンチャースポーツを、「単独種目、マルチスポーツ、アドベンチャーレース」といった3つにカテゴライズしている。だが、これはあくまでも概念にす

ぎない。それぞれにこうでなければならないといった定義はないし、カテゴライズしたところで本来なんの意味もないのだ。単独種目競技、マルチスポーツ、アドベンチャーレース、すべてがアドベンチャースポーツである。それぞれに特性や特徴があるので、入りやすいカテゴリーからアドベンチャースポーツの世界への第一歩を踏み出していただければ幸いである。Let's enjoy!